

メキシコ中央銀行が政策金利を0.75%引き下げ

大和証券投資信託委託株式会社

メキシコ中央銀行は3月20日（現地）、金融政策決定会合において政策金利（Bank of Mexico Overnight Rate）を7.50%から0.75%引き下げ、6.75%とすると発表しました。

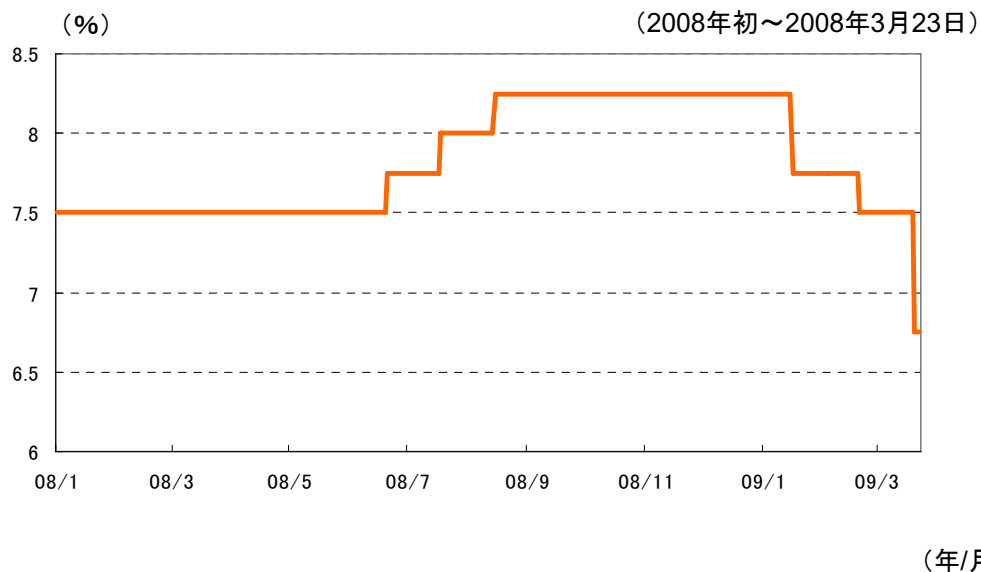
市場予想では0.25%の引き下げが大勢を占め、0.50%の引き下げも若干ありましたが、0.75%の利下げを予想していたエコノミストはいなかったことから、サプライズとなりました。今回の利下げを含め、メキシコ中央銀行は1月の金融政策決定会合から3回連続で計1.50%の利下げを実施したことになります。

中銀では、インフレは2008年12月より低下傾向にあり、インフレ期待も落ち着いてきている一方、景気の底打ちは2009年第3四半期にずれ込む可能性が高く、景気後退の長期化リスクが高まっているとコメントしました。

メキシコのインフレ率は2008年12月の6.53%から2009年2月の6.20%まで低下してきました。しかし、鉱工業生産は2008年9月以降4ヶ月連続で前年比マイナス幅が拡大しているほか、小売売上高も前年比マイナス幅の拡大基調となっています。2008年第4四半期のGDP成長率は前年比マイナス1.6%と落ち込みを示しているなど、メキシコ国内経済の急減速が明らかになってきています。なお、今回の利下げ幅が市場予想以上の0.75%に拡大された背景には、ペソが14.00前半まで上昇していたため、ペソ安による消費者物価指数（CPI）の押し上げ懸念が払拭されたこともあったと考えられます。

次回の会合は4月17日の予定です。

メキシコの政策金利の推移



(出所)ブルームバーグより大和投資信託作成
以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 ： 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会